

# JIS

## 製版機械—印刷用の焼付原板位置決め ピンシステム

JIS B 9605 : 1998

平成10年4月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって **JIS B 9605-1991** は改正され、この規格に置き換えられる。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣      制定：平成 3.1.1      改正：平成 10.4.20

官 報 公 示：平成 10.4.20

原案作成協力者：社団法人 日本印刷産業機械工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 一般機械部会（部会長 岡村 弘之

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課 ☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

# 製版機械—印刷用の焼付原板位置決め ピンシステム

## Printing plate making machine Register pin systems for film and paper alignment

**序文** この規格は、1993年に第1版として発行された ISO 11084-1, Graphic technology—Register systems for photographic materials, foils and paper—Part 1: Three-pin systemsを元に技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応規格には規定されていない規定項目(2点ピンシステム及び丸型ピン)を日本工業規格として追加している。

**1. 適用範囲** この規格は、印刷用の焼付原板(以下、原板という。)の製作工程に用いる台紙、フィルム、印画紙などの原板位置決めピンシステムについて規定する。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の一部を構成する。この引用規格は、その最新版を適用する。

JIS B 0401 寸法公差及びはめあい

**3. 定義** この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

a) **位置決めピンシステム** 印刷機、プリプレス機器などで、色分解フィルム及び刷板の正確な見当合せを行うためのピン及びピン穴の配列。

b) **位置決め** 一連の製版作業において必要とされる正確な位置合せを行うこと。

**備考** 例えば、多色印刷における各色版を正確に重ね刷りする場合に行う。

c) **位置決めピン穴** 位置決めピンを受けるために材料(台紙、フィルム、印画紙など)に明けられた穴。

d) **位置決めピン** 支持体表面に対して垂直な軸をもち、位置決めピン穴によって材料を所定の位置に保持するピン。

e) **位置決めピンベース** 位置決めピンを固定した支持体。

f) **小判形** 円を中心線に対称な2本の平行線で切った形、又はだ円をその長軸又は短軸に対称な2本の平行線で切った形。

**備考** この規格では長方形も小判形に含む。

g) **2点ピンシステム** 丸形ピン穴及び小判形ピン穴で構成される位置決めピンシステム。

h) **3点ピンシステム** 中心に配置された小判形ピン穴若しくは丸形ピン穴、及び1組以上の小判形ピン穴が中心線に沿って対称的に配置された位置決めピンシステム。